

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

釧路市雇用創造計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

釧路市

3 地域再生計画の区域

釧路市の全域

4 地域再生計画の目標

釧路市は、水産業、石炭鉱業、紙パルプ業の3つの基幹産業で東北海道の中核的な都市に成長してきたが、各業種とも近年の経済環境の変化により、厳しい状況におかれている。水産業は国際漁業規制の強化や漁業資源の減少により規模の縮小が進んでおり、石炭鉱業においては、国内最後の炭鉱であった太平洋炭鉱が平成14年1月に閉山し、地元経済界による新会社の設立はあったものの約1,000人の失業者が出るなど地域経済に大きな打撃となった。操業80年に及んだ太平洋炭鉱の閉山は、市内の既存商店街への影響が大きく、近年郊外の大型商業施設の集積等ともあいまって、市内においても地区により景況感の差異が顕著になってきている。釧路を代表する北大通りで空き店舗が増えており、総じて活力が損なわれている状況にあると言える。

これまで、釧路市は「にぎわいとコミュニティの再形成による釧路再生計画」をもって商店街主催を含むイベント等の魅力アップにつなげ、中心市街地への集客を増すべく取組みを進めてきたところである。また、NPO等によるボランティア輸送としての有償運送における使用車両の拡大を図るための「釧路市ハートフルセダン型特区」、DMEに関する実験事業を容易かつ有利に実施できる条件整備を図る「釧路・白糠次世代エネルギー特区」の指定を受けると

もに、釧路川水際交流拠点地区、阿寒湖温泉地区に都市再生整備計画を策定し、地域経済の再生に努めてきた。

また、中心市街地については、その活性化基本計画を策定し、商店街振興組合やNPOの事業を喚起するとともに、「釧路こども遊学館」「市民活動センター」の設置などに取り組み、街中の賑わい創出などに努めてきた。しかしながら、これらの取り組みにもかかわらず、この地域の経済や雇用の状況は厳しい状況にあるため、積極的な雇用の創造が強く求められている。

具体的には年度平均有効求人倍率を現在（平成19年度）の0.45倍から過去10年間の最高値である、平成12年度の0.54倍への引き上げと、3年間の雇用創出の目標を97人とし、雇用の拡大を目指す。

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

釧路市は地域経済活性化と雇用安定のために、地域雇用創造推進事業を活用し、次に記すように、各種事業を実施し、雇用・就業機会の創出を図ることとしている。

- ① 阿寒湖温泉の更なる開拓とともに、市内に2つの国立公園を有するという全国でも稀な観光資源を生かして伸びている宿泊業関連分野での新たな雇用に結びつく人材育成を行う。
- ② IT関連の企業が人材を求めているので、その雇用の場を釧路において確保すべく、企業誘致の取組みとともに人材の育成を行なう。
- ③ 高齢者介護福祉施設を中心とする福祉施設での介護士等有資格者ニーズを踏まえた人材の育成に努める。
- ④ 建設関連分野においては、首都圏から遠距離にあるため、これまでものづくりに対するノウハウの蓄積を多くできなかったことから、そのノウハウを習得することで地元受注機会の増、強いては雇用の増を生み出す。

これらの取り組みにより、地域産業の活性化によって雇用を創造し、安心して暮らし続けられる地域社会の実現と、「釧路再生」を果たしていくことを目指す。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

「該当なし」

5-3 その他の事業

5-3-1 地域雇用創造推進事業【B0902】

5-1で掲げた事業を遂行する上で釧路市では、「釧路市産業再生指針」で今後の重点分野と位置付けた各産業（観光分野等）、地域の生活や産業を支える産業（情報通信分野、福祉分野、ものづくり分野等）の振興を図る上で、地元企業経営者が必要とする新分野進出や事業拡大等を進めることのできる技術や知識、経験を持った人材が不足している。

また、人材需要の高い観光関連分野や情報通信分野、福祉分野において必要とされる知識や技能、資格を有する人材が不足しているとともに、ものづくり分野においては最新技術などのノウハウを持つ技術・技能者が少なく、業務受注及び雇用機会の確保・拡大の妨げとなっているなどの課題がある。

これらの課題を解決するため、地域雇用創造推進事業を実施し、雇用の拡大と地域産業の活性化を図る。

なお、事業の実施にあたっては、釧路市、北海道釧路支庁、釧路商工会議所、北海道中小企業同友会釧路支部、釧路公立大学、釧路根室圏産業技術振興センター、釧路地方職業能力開発協会で構成する「釧路市雇用機会増大促進協議会」を実施主体とする。

具体的な事業の構築は次のとおりである。

① 雇用拡大メニュー

ア 地場産皮革製品開発事業

- ・地元で産出されるものの活用事例の少ないエゾシカ及びダチョウ（オーストリッチ）の皮革を用いた民芸品製作ノウハウ取得のため、革工芸の専門家を講師に招き、市内民芸品店関係者や民芸品製作による創業を目指す求職者等を対象として、研修会を開催する。阿寒国立公園の中心であり、釧路市の奥座敷ともなった阿寒湖畔において観光客に新しい民芸品を提供するとともに、民芸品製作を体験してもらうことで滞在時間を延ばすなど、民芸品の直接の販売ばかりでなく、一層の観光振興につなげるものである。

なお、当面は新たな民芸品の製作により観光分野での雇用創造を図る。

② 人材育成メニュー

ア IT人材育成事業

- ・人材需要が高いものの、一定のスキル(クライアント環境・ネットワーク技術等資格)を備えた人材を必要とするために人材確保に難を抱えるIT系サポートセンターがあることから、情報通信分野の事業拡大を進める「釧路ITクラスター推進協会」と連携し、地元求職者を対象とした同センターへの就職に必要となるスキル習得研修を実施するとともに、研修修了者と同センターのマッチングを進める。当地において質の高い求職者を育てるとともに、企業誘致施策などと組み合わせて、情報通信分野の企業立地を促し、雇用の創造を図る。

イ 工業技術講習会

- ・新製品・新技術の開発、先進技術の習得、及び事業化に対する各種支援などに関する技術講習会を開催する。当地域の工業製品製作の信頼性をあげるとともに、企業の新分野進出や事業拡大に資することにより、ものづくりに分野における雇用の増加を生み出す

ウ 建設関連技能講習会

- ・これまで機会の少なかった、先進技能の習得等に関する講習会を開催する。建設関連技能への信頼性をあげるとともに、建設関連企業の新分野進出や事業拡大に資することで、ものづくり分野における雇用の増加を生み出す。

③ 就職促進メニュー

ア U・I ターンフェア事業

- ・高度な技能や経験を有する人材の獲得を希望する市内企業を集め、首都圏などの都市部求職者に対して情報提供・相談を実施するU・I ターンフェアを開催し、U・I ターン希望者の就職実現を図る。専門的な知識、技術等を持った人材誘致を図る。

イ 社会福祉施設マッチング事業

- ・高齢者介護施設を含む社会福祉施設と、人材（求人）需要の多い2級介護士のマッチングを進めるため、現場経験を持たない有資格者の再教育セミナーと面接会を開催する。福祉施設において、必要な人材を必要に応じ配置できるようにすることで、雇用機会の喪失を防ぐ。

ウ 就職促進事業

- ・就職機会の少ない生活福祉関係の求職者（ひとり親世帯等）に職業観の育成及び就職支援セミナーを開催する。就職のための人材の育成を行う。

エ 専門的人材誘致・確保事業

- ・地元企業の新分野進出計画や事業拡大計画を立案することの出来る専門的人材の誘致活動を、民間企業のノウハウを活用して行う。地元で確保することが困難な高度で専門的な知識、技術等を持った人材を全国から誘致する。

5-3-2 釧路市で行う事業

1 産業再生の取組み

産業再生の長期的な取組みの方向性等について地元産学官により検討を行い「釧路市産業再生指針」を作成した。当該指針に基づく事業計画として、事業内容、実施時期等について「産業再生事業化プログラム」としてまとめ、民間企業、団体、行政など地域一体で取組みを進める。

(1) 観光分野振興事業(平成16年度～)

地域の観光資源の魅力を高め、ニーズに対応した体験型観光を促進するとともに、食と連携したさまざまな取組みを進める。

- ① 体験型（滞在型）観光推進事業
- ② 地域間連携推進事業（異国プロジェクト）
- ③ 交通観光資源活性化調査事業
- ④ 観光・食産業連携事業

新たな特産品（くじら、エゾシカ、ダチョウなど）の開発
阿寒湖畔のホテル等との連携 など

- ・事業実施主体 釧路市・民間団体
- ・事業規模 平成19年度予算 約 2,049千円

イ これまでの実績

- ・観光振興ビジョンの策定
- ・体験型観光など新たなモデルルートの開発、PR
- ・観光受け入れ体制の整備 など

ロ 今後の見込み

- ・観光産業の育成を図るための食の魅力づくり、MICE産業育成、
- ・観光まちづくりを目指し、魅力的な地域づくり、広域連携の強化、
- ・人材育成の促進

(2) 情報通信分野事業（平成16年度～）

- ① ITシステムの開発促進

- ② 農家、農協等と連携した農産物栽培履歴管理システムの事業化検討
- ③ 釧路 I T クラスター推進協会（民間団体）への活動支援
- ④ I T 産業の人材育成、交流・連携の促進
 - ・事業実施主体 釧路市・民間団体
 - ・事業規模 平成 1 8 年度予算 5 0 0 千円

イ これまでの実績

- ・栽培履歴管理システム、農薬情報システムを構築

ロ 今後の見込み

- ・地域産業の付加価値向上のための I T システム導入の促進
 - ・農産物の栽培履歴管理システムの試験運用、機能充実の検討
 - ・新たな I T ビジネスの創出
- 電算業務アウトソーシングサービス等の事業化支援

（3）福祉分野（平成 1 8 年度～）

① 自立支援プログラム

生活福祉事務所において就業体験プログラム・日常生活意欲向上支援プログラムに取り組む社会参加と就労意欲の形成を促す。

- ・事業実施主体 釧路市
- ・事業規模 平成 1 9 年度予算 約 5, 0 4 6 千円

イ これまでの実績

- ・参加状況 1 1 4 人

ロ 今後の見込み

- ・就業支援プログラムの継続

（4）ものづくり分野（平成 1 5 年度～）

① 技術開発・技術相談等の支援

産業技術に関する相談・支援、依頼分析・検査等の受託、実践的な研修会等の実施による人材育成、産業技術等に関する情報提供、産学官連携の場の創出など

② 職業能力開発等の支援

事業主団体や求職者のニーズに応じた職業訓練・技能訓練の実施

- ・事業実施主体 釧路工業技術センター・釧路地域職業訓練センター
- ・事業規模 平成19年度予算 約 11,038千円

イ これまでの実績

- ・製品開発等 学校机・イス

ロ 今後の見込み

技術・職業能力開発

6 計画期間

地域再生計画の認定日～平成23年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

釧路公共職業安定所管内における有効求人倍率及び地域雇用創造推進事業の実施に伴う雇用創出数を用い、目標の達成状況进行评估する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

「該当なし」